

2 平成 31 年度事業の概要

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

生涯学習課

「地域のお宝」を学び地域活動を担う高校生育成事業 3,414 千円

〔事業目的及び概要〕

地域への愛着と誇りを持って地域活動に参加し、地域の魅力を発信できる高校生を育成することを目的とし、自然・史跡・食・伝統芸能などの地域資源の魅力を、学びと体験を通じて再認識し、それらに関連付けて紹介する取組の企画・実践及び発表を行う事業である。

〔事業内容〕

(1) 「地域のお宝物語」の実践

- ア 実行委員会の設置（平成 30 年度に継続して、12 市町村の実行委員会への委託）
 - 委員構成 高校生、若者・シニア世代、市町村教育委員会職員、企業・NPO、大学等の職員
 - 委託期間 委託決定日～3月上旬
- イ 委託内容
 - 実行委員会の開催
 - 回数：年3回程度
 - 内容：前年度企画した「地域のお宝物語」をブラッシュアップし実践していくうえで、その方向性や日程等についての会議
 - ワークショップの開催 ※活動は土日、祝日、長期休業中
 - 期日：4月～11月、6回程度
 - 対象：高校生、小・中学生、若者・シニア世代
 - 内容：「地域のお宝物語」の実践に係る勉強会、研修会、体験活動、まとめ

(2) 取組成果のプレゼン大会

- 期日：2/1(土)
- 場所：アピオあおもり（青森県男女共同参画センター）イベントホール
- 対象：12 市町村の代表の高校生、引率の実行委員（大人）
- 内容：「地域のお宝物語」のプレゼンテーションを行う

(3) 情報発信と活用

- ア 活動事例集の作成・配付
 - 内容：①12 市町村実行委員会の2年間の活動内容
 - ②平成 30 年度中間発表会の報告
 - ③平成 31 年度プレゼン大会の報告
 - ④各実行会委員の感想、参加高校生アンケート結果
 - ⑤プレゼンテーションコンテンツ「地域のお宝物語」及びドキュメンタリームービーの案内（アクセスURL・リンクQRコードの掲載）
- イ プレゼンテーションコンテンツ「地域のお宝物語」及びドキュメンタリームービーの公開

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1,871 千円

〔事業目的及び概要〕

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図るため、市町村の社会教育主事等が中心となり、首長部局、企業・民間団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

【事業内容】**(1) 地域課題の解決【2 地区 主管：関係教育事務所】****ア 事業の企画**

○内容：市町村の社会教育主事・社会教育関係職員等が中心となり、首長部局（まちづくり、地域づくり担当部局）、NPO団体、地域づくり団体等とともに、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり地域の良さを生かしたりするための事業を企画するワークショップを実施する。ワークショップにおいては、講師による講義及び指導助言や事例発表者による発表内容をもとに、実施可能な事業について話し合い、実際に実施する事業を決定する。

○回数：2 地区×3 回程度

イ 事業の実践

○内容：「事業の企画」で企画した事業等について、実行委員会に委託して実践する。

○実行委員会：各市町村社会教育関係職員等、首長部局職員、NPO団体、地域づくり団体等

(2) キャリア教育の推進【青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】**ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催**

○内容：学校と企業、その他関係者がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域における未来をつくる人財像を共有するため、各地区においてネットワーク会議を開催し、学校が求める支援の内容や企業ができる支援内容をマッチングすることを目的に、アドバイザーによるコーディネートのもと、意見・情報交換を行う。

○構成：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員、PTA、企業、商工団体、行政、地域学校協働本部に関わる方々

○実施日：県内 6 地区で 1 回

イ 模擬授業等の開催

○内容：学校における教育活動の充実のため、地元企業・NPO等が実施している教育支援活動（出前授業・インターンシップ・体験活動等）の具体的な取組の紹介や企業による模擬授業等を実施する。

○実施日：県内 6 地区で 1 回

○対象：教職員、学校支援ボランティア、地域学校協働本部関係者等

子どもの読書活動推進事業 2,296 千円**【事業目的及び概要】**

「青森県子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育成するため、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及・啓発を進める取組を展開する事業である。

【事業内容】**(1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』**

県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい本の紹介文を募集し、秀逸な作品を選び表彰するとともにホームページ等で紹介する。

(2) 子どもの読書活動推進大会の開催

子どもの読書活動に係る関係者が情報の共有を図り、子どもの読書活動の推進方策を探る。

○期日・会場

12/14（土）弘前市民文化交流館 4 階ホール

(3) 子どもの読書活動推進計画の策定

青森県子ども読書活動推進計画（第四次）の策定に向けた検討委員会を開催する。

いじめ防止キャンペーン推進事業 7,517 千円**【事業目的及び概要】**

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品をテレビを通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

【事業内容】**(1) いじめ防止標語コンクール**

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀作品 6 本程度を選定、表彰する。また、優秀作品を主題とする絵コンテの作成を、県内高校生に依頼する。

(2) テレビCM放映

いじめ防止標語コンクールの優秀作品を活用したテレビCMを制作し、県内民放 3 局においてテレビ放映する。

特別支援学校における家庭教育支援事業 684 千円

〔事業目的及び概要〕

障害のある児童生徒の保護者等が、子どもの健やかな成長のために、障害のある児童生徒の心理や行動について理解を深め、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得するとともに、同じ悩みを持つ保護者同士の交流や地域住民との交流を深める機会を提供する事業である。

〔事業内容〕

- 主 管 校：県内特別支援学校(20 校)
- 開設時間：4 日間 10 時間程度
- 対 象：障害のある児童生徒の保護者等
- 学習内容：児童生徒の心理や行動、障害者の就労、福祉、体育及びレクリエーション

子どもたちの成長を支える「地域のチカラ結集」推進事業 5,374 千円

〔事業目的及び概要〕

地域学校協働活動の促進及び地域での家庭教育支援の充実を図ることを目的として、地域学校協働活動に係る教職員研修、地域学校協働活動推進員等の養成及び地域学校協働本部未設置の市町村に対して、立ち上げのための講師派遣を行うとともに、学校と家庭教育支援団体等との連携・協働の促進に係る研修会及びモデル地域における実践活動を行う事業である。

〔事業内容〕

【取組 1】地域のチカラで支える地域学校協働活動の促進

地域学校協働本部の構築に新たに取り組む、または活動を更に活発にしたい市町村に対し、地域学校協働活動の環境整備を促進する。

(1) 地域学校協働活動の推進に係る研修の実施

ア 学校と地域を結ぶ窓口となる教職員研修【主管：県生涯学習課】

地域学校協働活動の理解と今後の地域と学校の連携・協働について、小・中学校教職員の理解を図る。

- 期日・会場：東青地区 8/ 9(金)午後 県総合社会教育センター
- 西北地区 8/30(金)午後 五所川原市中央公民館
- 中南地区 8/ 7(水)午後 弘前市総合学習センター
- 上北地区 7/25(木)午後 公立小川原湖青年の家
- 下北地区 8/19(月)午後 大間町総合開発センター
- 三八地区 7/ 5(金)午後 南部町総合保健福祉センターゆとりあ

○対象：公立小・中学校の学校と地域を結ぶ窓口となる教職員等【学校 1 名悉皆】

イ 地域学校協働活動推進員等養成講座の実施【主管：各教育事務所】

地域学校協働活動の推進のため、地域学校協働活動推進員等(コーディネーター)が未配置の小学校区における地域学校協働活動推進員等を養成する。

- 期日・会場：東青地区 7/24(水)午前 平内町山村開発センター
- 西北地区 9/10(火)午後 五所川原市中央公民館
- 中南地区 7/16(火)午後 弘前市中央公民館相馬館
- 上北地区 9/18(水)午後 七戸中央公民館
- 下北地区 8/27(火)午後 むつ来さまい館
- 三八地区 9/11(水)午後 八戸市福祉公民館

○対象：地域学校協働活動推進員等を担ってくれる地域住民

ウ 「地域のチカラ結集」合同ワークショップの実施【主管：県生涯学習課】

地域学校協働活動関係者が一堂に会してワークショップを行うことにより、関係者の資質向上

とネットワークを形成する。

- 期日・会場：東青地区 1/10(金)午後 県総合社会教育センター
 西北地区 12/24(火)午後 五所川原市中央公民館
 中南地区 1/ 9(木)午後 県武道館
 上北地区 11/11(月)午後 七戸中央公民館
 下北地区 12/25(水)午後 むつ来さまい館
 三八地区 11/18(月)午前 八戸合同庁舎

○対象：地域連携担当教員、地域学校協働活動推進員等、学校支援活動関係者、放課後子ども教室関係者、家庭教育支援関係者、市町村教育委員会職員等

(2) 地域学校協働本部の立ち上げに係る市町村への支援

地域学校協働本部の設置に至っていない市町村に対して、本部立ち上げに向けた課題解決やノウハウの指導・助言のため、講師等を派遣する。

【取組2】地域のチカラで家庭を支える新たな連携・協働の促進

学校と家庭教育支援団体等が連携・協働し、スクールカウンセラー(S C)やスクールソーシャルワーカー(S S W)、健康福祉機関等の職員の参加による連絡会議を開催する予防的・早期対応型支援モデルに取り組んでいく。

(1) モデル地域における取組の実践

市町村教育委員会を事務局とする実行委員会を組織し、学校と家庭教育支援団体等が連携・協働し、S CやS S W、健康・福祉機関等も参加する実行委員会等を開催する。

(平成30年度に委託した6実行委員会に委託する。)

○時期：5月～2月

○構成：実行委員会・・・学識経験者、市町村教育委員会、担当学校長、家庭教育支援団体代表者等7名

連絡会議・・・市町村教育委員会、S C、S S W、家庭教育支援団体代表者等7名

○回数：実行委員会・・・年2回(予定)

連絡会議・・・年4回(予定)

(2) モデル実践を基にしたハンドブックの作成

市町村が主体となって、学校と家庭教育支援団体等との連携・協働した体制づくりができるよう、モデル地域における取組の実践及びスタートアップ研修会で紹介した県外の事例を含めたハンドブックを作成する。

地域学校協働活動推進事業(県事業) 2,054千円

【事業目的及び概要】

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動を推進することを目的として、より多くの地域住民等の参画による多様な活動を継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

【事業内容】

(1) 地域学校協働活動推進委員会の開催

県内の地域学校協働活動の推進について、総合的な在り方の検討を行うとともに、全児童の放課後対策の諸問題について協議し、各市町村の放課後子ども総合プランの推進を支援する。

ア 地域学校協働活動推進委員会の開催(年2回)

・委員数：15名(行政関係者(教育委員会、福祉部局)、学校関係者、PTA関係者、学校支援関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、学識経験者等)

イ 放課後子ども総合プラン市町村担当者連絡会議(年2回)

・対象：市町村放課後子ども総合プラン担当者(社会教育主管課及び福祉部局)

(2) 研修会の実施

ア 地域学校協働活動推進員等研修【主管：県総合社会教育センター】

地域学校協働活動推進員等の資質向上を図るとともに、他の事業関係者との情報交換・情報共有を図る。

・日時及び会場：6/6(木)10:00～15:00 県総合社会教育センター

6/7(金)10:00～15:00 七戸中央公民館

- ・対象:地域学校協働活動推進員、放課後子ども教室コーディネーター及び地域学校協働活動本部のコーディネーター等(以下、地域学校協働活動推進員等)

イ 放課後子ども総合プラン指導員等研修【主管:各教育事務所】

- ・目的:放課後対策事業等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催する。
- ・期日:前後期各1日(全12回)

地区	前期予定	後期予定
東青	6/13(木)	9/19(木)
西北	6/7(金)	10/3(木)
中南	7/2(火)	9/10(火)
上北	6/11(火)	10/1(火)
下北	6/11(火)	10/16(水)
三八	5/22(水)	10/1(火)

- ・対象:地域学校協働活動推進員等、教育活動推進員及び教育活動サポーター、放課後児童指導員等、土曜学習推進員及び土曜学習サポーター等

ウ 地域学校協働活動コーディネートアドバイザーの配置

県に地域学校協働活動に係るコーディネートアドバイザーを配置し、市町村教委との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進等を行う。

放課後子ども教室推進事業費補助	60,525千円
------------------------	-----------------

[事業目的及び概要]

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を設け、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民と交流活動等の取組を実施する市町村に対し、また、子どもたちの土曜日等の教育活動を充実することを目的として、民間団体等の多様な経験や技能を持つ外部人財等の参画により、特色・魅力のある教育プログラムを実施する「外部人材を活用した教育支援活動」の取組を実施する市町村に対し、県が補助をする事業である。

[事業内容]

「放課後子ども教室」及び「外部人材を活用した教育支援活動」の取組を行う市町村(中核市の青森市及び八戸市を除く)に補助金を交付する。【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

・放課後子ども教室

予定 23市町村 95教室

平内町 外ヶ浜町 今別町 深浦町 中泊町 鶴田町 弘前市 平川市 藤崎町 大鰐町
十和田市 七戸町 おいらせ町 六戸町 横浜町 東北町 むつ市 大間町 風間浦村
佐井村 三戸町 五戸町 階上町

・外部人材を活用した教育支援活動

予定 3市町 6箇所

今別町 中泊町 弘前市

地域学校協働活動推進事業費補助	7,607千円
------------------------	----------------

[事業目的及び概要]

幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働しながら地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動(地域学校協働活動)を推進することを目的として、地域学校協働活動に取り組む市町村に対し、県が補助をする事業である。

[事業内容]

地域学校協働活動及び今後の地域学校協働活動の契機となる学校支援活動等の取り組みを行う市町村(中核市の青森市及び八戸市を除く)に補助金を交付する。【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

あおもり家庭教育支援総合事業 2,791千円

〔事業目的及び概要〕

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うために、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 家庭教育支援推進協議会の開催
今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、これに対応した学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等の事業等について協議する。
○構成：有識者、家庭教育支援者など 10名以内
○回数：年3回
- (2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の作成
家庭教育の学習を推進するため、「あおもり親楽プログラムテキスト作成委員会」を設置し、あおもり家庭教育アドバイザーが活用する家庭教育の学習テキストの内容について協議し、改訂等して作成する。
○対象：PTA、学校、市町村、市町村教育委員会等、あおもり親楽プログラムを活用した講座や研修会等を実施する団体及びあおもり親楽アドバイザー等の家庭教育支援者
○体裁：A4判小冊子 1,500部
○テキスト作成委員会 構成：家庭教育支援推進協議会より4名選出
○回数：年2回
- (3) 親の学びを支援する「あおもり家庭教育アドバイザー」の派遣(主管：県総合社会教育センター)
今日的課題に対応した家庭教育の学習を推進するための「あおもり親楽プログラム」を活用した講座、研修会で進行役を行う「あおもり家庭教育アドバイザー」をPTA等の要請に応じて派遣し、地域における家庭教育支援の活性化を図る。
○対象：PTA、学校、市町村、市町村教育委員会等、あおもり親楽プログラムを活用した講座や研修会等を実施する団体。
○派遣回数：20回
○派遣延べ人数：35人
- (4) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成(県読書団体連絡協議会に委託)
幼稚園等で実施される読み聞かせ研修会等で講師を担当する「親子ふれあい読書アドバイザー」を、県内6地区で養成する。
○対象：教職員や保護者、放課後子ども教室・児童クラブ関係者、学校のボランティア関係者等読み聞かせに興味がある県民
- (5) 家庭教育応援フェスタの開催
多くの人が集まる場所において、乳幼児期の子を持つ親やその家族を対象に子どもの生活習慣等について考えてもらう機会となるトークセッションの開催、家庭教育支援活動に関する関係団体の活動紹介や、実際に親子で体験できるブースの設置等、健康福祉部などの関係部局や家庭教育支援団体等と連携して行うことにより、家庭教育について理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高める。
○期日：11月
○会場：八戸市立東公民館
○対象：家庭教育・子育てに興味関心のある県民
- (6) 祖父母向け孫育て研修会の開催(県地域婦人団体連合会へ委託)
家庭教育をサポートする祖父母を対象として、祖父母が読み聞かせるのに適したおすすめ絵本の紹介や絵本の選び方、絵本を通じた孫との交流や絵本の読み聞かせ方等を学ぶ。

○対象：孫等をもつ祖父母、家庭教育支援に興味のある方等。

○回数：年1回×2地区(大鰐町、横浜町)

(7) 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催

社会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる人々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、市町村及び家庭教育支援者等のネットワークを広げるネットワーク形成研修会を開催する。

○期日：1/8(水)

○会場：県総合社会教育センター

○対象：市町村教育委員会家庭教育担当者、家庭教育支援チーム、家庭教育支援・子育て団体、あおり家庭教育アドバイザー養成講座受講者、あおり家庭教育アドバイザー登録者、児童福祉関係者、幼稚園・保育所職員、小中高等学校教職員、PTA関係者、家庭教育支援に携わっている方、家庭教育支援に興味のある方等

総合社会教育センター

大学生とカタル！キャリアサポート形成事業 1,016千円

【事業目的及び概要】

中学生及び高校生が自らの夢に向かって主体的に行動できるように、コミュニケーション、コーチング等の研修を修了した大学生からの働きかけにより、中・高校生のやる気や意欲を引き出し、チャレンジする心を育むためのワークショップを計画的に実施する事業である。

【事業内容】

(1) ワークショップ「キャリアサポ」、「Jr. キャリサポ」の実施

中学生及び高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つめ直しにつながる、大学生によるワークショップを開催する。

ア 時期：6月～3月

イ 対象校：県内高等学校22校、中学校2校

ウ 対象生徒：高校生約3,000名、中学生約300名

(2) キャリア形成の支援

ア 関係者研修会の開催

(ア) 実施校担当者等研修会

(イ) 大学生会議

イ 大学生研修会の実施

(ア) 基本研修

(イ) ワークショップ演習

(ウ) 模擬演習(合同リハーサル)

(エ) 応用研修

ウ パイロット事業内容の精選及び研修会の実施

(ア) 中学校対応研修

高校生スキルアッププログラム推進事業 200千円

【事業目的及び概要】

高校生の知識や経験の幅を広げ、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図るため、学校外における学習への積極的な取組を推進する事業である。

【事業内容】

(1) 高校生スキルアッププログラムの運営

(2) 高校担当教員対象研修会の実施

(3) 評価サービス

(4) 県民カレッジとの連携

青森で生きる未来人財育成事業 1,161千円**〔事業目的及び概要〕**

青少年の自己肯定感や主体性を高めるため、講座（中学生・高校生・大学生対象）と演習「寺子屋」（小学生・中学生・高校生・大学生対象）を実施し、実施自治体において、青少年が地域活動に参加し成長する仕組みづくりを行い普及定着を図る事業である。

〔事業内容〕

(1) 講座

ア 対象

(ア)対象地域 東青地域(青森市)、三八地域(八戸市)

(イ)対象者 上記地域に住む青少年(小学生・中学生・高校生・大学生)各30名
計60名

イ 内容

コミュニケーション講座 小学生との接し方などコミュニケーションに関する内容を講義・演習をとおして学習する。また、寺子屋の意義を学んだり計画を立てたりすることで、1年間の活動に見通しを持ち参加する。

振り返り講座 1年間の寺子屋活動を振り返る機会とする。

(2) 演習(寺子屋)

(青森会場)

・県総合社会教育センターを会場に実施する。(週1回日曜日)

(八戸会場)

・児童館での交流(月1回実施)

・放課後子ども教室での交流(月1回程度、平日・土曜日・長期休業中)

・地域ボランティア活動参加(長期休業中)

青少年異年齢交流モデル事業(寺子屋ありす)**〔事業目的及び概要〕**

青少年の豊かな人間性や社会性を育むため、異年齢集団における交流活動をとおして、主体的に関わり、相互に学び合い、成長できる仕組みづくりを行うモデル事業である。

〔事業内容〕

(1) 対象：青少年(小学生、中学生、高校生及び大学生)

(2) 期日：通年

(3) 場所：県総合社会教育センター

(4) 内容：大学生、高校生による小学生、中学生への学習支援、交流活動の場「寺子屋ありす」を開設する。

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業**〔事業目的及び概要〕**

青少年の社会参加活動・創作活動の推進に取り組む方策の研究を目的として、高校生・大学生等を中心に社会参加活動・創作活動を行っている団体をモデル団体に指定し、支援する事業である。

〔事業内容〕

(1) 団体募集(高校生や大学生、専門学校生等を主体とした団体)

(2) 団体の指定

(3) 団体支援

ア 発表の場の提供

イ 情報発信用の専用掲示スペースの設置

ウ ミーティング等を行うスペースの用意

エ 所報「響」やHP等での活動状況の紹介

オ 社会教育主事等による情報提供とアドバイス

カ 名義使用の許可

キ 研修室等使用料の減免

教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座**〔事業目的及び概要〕**

新学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」について理解を深め、その実現に向けて学校・家庭・地域が『チーム』として連携し、“未来の学校づくり・人づくり”に取り組む重要性と目的を共有し、具現化するための実践的な研修を行う事業である。

〔事業内容〕

- 期日：11/19(火)、11/20(水)
- 場所：県総合社会教育センター
- 対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員等
- 内容

1日目 11/19(火)

- 午前：説明…『「地域学校協働活動」について』～国・県の現状～
講義…『「社会に開かれた教育課程」の編成に向けて』
～地域学校協働活動とコミュニティ・スクール～
- 午後：実践発表…「地域の実践活動者の取組」
情報提供…「県内のコミュニティ・スクールの現状」
事例発表…「地域と連携した取組事例に学ぶ」
演習①…(仮)「目的を共有するには？」(グループワーク)

2日目 11/20(水)

- 午前：事業紹介…「教育支援プラットフォーム事業『我が社は学校教育サポーター』の活用について」
「教育支援プラットフォーム・地区実行委員会の現状と取組」
情報提供…公共施設による情報提供(ブース形式)
- 午後：演習②…(仮)「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの概念を取り入れたモデルプランづくり」(グループワーク)

家庭教育応援隊養成講座 855 千円**〔事業目的及び概要〕**

地域全体で家庭教育を支援する体制を整備することを目的として、各地域で子育てを応援する家庭教育支援者やリーダーを育成する事業である。

〔事業内容〕

- 場所：県内2地区(上北地区…三沢市/下北地区…むつ市)
- 定員：各30名
- 対象：家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育支援に関心のある人、読み聞かせ団体スタッフ、市町村の家庭教育担当者等
- 内容：今日的な家庭教育支援の現状について、講義・演習形式で学ぶ。また、講義内容を活かしながらグループでの実践(サロン運営)を通して子育て中の親子との関わり合いを経験し、学びを継続していく。(全7回：6～12月)

家庭教育支援動画制作普及事業 3,648 千円**〔事業目的及び概要〕**

子育てに関わる人々の抱える不安や悩みを払拭し、家庭教育の重要性を訴えるため、家庭教育支援動画及び家庭教育支援テレビ番組を制作し、専門家等によって学術的に裏付けされた子育て情報を普及させ、県内における家庭教育の充実を図る事業である。

〔事業内容〕

(1) 動画制作普及委員会の設置

動画制作普及委員会を設置し、制作内容の検討・評価等を行う。

- ア 回数：年4回
- イ 構成：学識経験者、幼・保育園(所)関係者、学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育支援者等から所長が委嘱する。
- ウ 協議内容

- (ア) 家庭教育支援動画・テレビ番組の内容に関すること
 - (イ) 家庭教育支援動画・テレビ番組の普及に関すること
 - (ウ) 家庭教育支援動画・テレビ番組の制作を委託する際の審査に関すること
 - (エ) 本事業の総合的な評価に関すること
 - (オ) その他本事業に必要と認められること
- (2) 家庭教育支援動画、テレビ番組の制作
 家庭教育の重要性を広く普及するため、家庭教育支援動画（5分、民間委託制作）と家庭教育支援の在り方をテーマとしたテレビ番組（15分、民間委託制作）を制作し、家庭や地域での様々な取組等を紹介する。
- (3) ホームページでの家庭教育支援動画・テレビ番組の配信等
 県総合社会教育センターホームページで家庭教育支援動画・テレビ番組を配信するとともに、DVDとして関係機関に配付し、各種研修会・会議等での活用を促す。

家庭教育相談事業 408千円

〔事業目的及び概要〕

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生までの保護者や家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

〔事業内容〕

- 対象：乳幼児から高校生までの保護者や家族
- 実施方法：電話相談・週3回 月・水・木曜日（祝日・年末年始を除く）13:00～16:00
 メール相談・24時間受付
- 場所：県総合社会教育センター電話相談室
- 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などの子どもに対する悩みや家庭教育全般について
- 相談体制：県総合社会教育センター育成研修課員・教育活動支援課員及び家庭教育支援員が対応

県立図書館

子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

子どもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、市町村立図書館等に対して幼児、児童・生徒用図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

小・中学校の読書活動や幼稚園・保育所の読み聞かせ活動を支援するため、朝の読書用、父母が幼児に読み聞かせする絵本・児童書、読み聞かせ活動用の大型絵本、環境・福祉・食育等のテーマに沿った図書、ブックトーク実演のための図書の各セットを、希望する市町村立図書館等に貸出し、学校等に配本する。（4/1(月)～3/31(火)）

高校生の読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

高校生（特別支援学校高等部を含む。）の読書活動推進を目的として、高等学校図書館等に対してキャリア教育の充実、教育活動を支援する図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

高等学校の読書活動を支援するため、進路や生き方、職業選択に関する図書のほか、美術、音楽、スポーツなど高校生世代の興味の対象になりそうな図書セットを、希望する高等学校等に貸出・配本する。（4/1(月)～3/31(火)）

梵珠少年自然の家

梵珠少年自然の家主催事業 1,632千円

〔事業内容〕

(1) 看板事業

〔事業目的及び概要〕

教育効果が高い企画及びその運営手法などを広く普及啓発していくことを目的として、施設の魅力を生かした活動プログラムを発達段階に応じて提供していく事業である。

活動名	期日	対象	募集人員	内容
9歳チャレンジ・キャンプ ～ひとりでもできるぞ!～	7/20(土) ～22(月)	9才児童 (小学3・4年生)	24名	出会いのつどい、仲間づくり交流ゲーム、家族への手紙書き、ザリガニ釣り、ディスクゴルフ、段ボール基地作り、松倉神社登山、キャンドルサービス、野外炊事、思い出クラフト、別れのつどい
夏の7days キャンプ ～種差から梵珠へ 自転車と登山で移動する160km真夏のチャレンジ!～	8/4(日) ～10(土)	小学5年生 ～中学3年生の児童生徒	24名	出会いのつどい、自転車隊列走行トレーニング、自転車による移動型テント泊、野外炊事、いかだ遊び、キャンプファイヤー、プール遊び、動物お世話体験、八甲田大岳登山、そば打ち体験、花火大会、思い出クラフト、別れのつどい
年長すくすくキャンプ ～キッズの大冒険～	9/14(土) ～15(日)	年長児	16名	出会いのつどい、仲間作りゲーム、流しそうめん、森の中で冒険遊び、テント設営、五目寿司作り、絵本読み聞かせ、思い出クラフト、別れのつどい
ぼんじゅ冬キャンプ ～冬山ハイキングを楽しもう～	2/21(金) ～23(日)	小学4年生 ～中学2年生の児童生徒	24名	出会いのつどい、仲間作り交流ゲーム、冬山ハイキング、炊事、キャンドルサービス、チューブそり滑走体験、思い出クラフト、別れのつどい

(2) 養成事業

〔事業目的及び概要〕

自然体験活動の普及を図ることを目的として、当施設の利用団体の引率者、高校生、大学生、青少年教育団体の関係者を対象に、基礎的技術の伝達や様々なプログラムを体験できる研修機会を提供し、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

活動名	期日	対象	募集人員	内容
在学少年宿泊指導者研修	4/23(火) ～24(水)	平成31年度利用予定団体の引率者及び今後利用を考えている団体の引率者		実技体験（野外・室内・創作の各プログラム）、宿泊体験、講義（自然体験活動の意義及び野外活動における安全管理）、説明（施設利用に当たっての留意点）、演習・実践（日課表作成）
自然体験活動ボランティア入門セミナー	5/11(土) ～12(日)	高校生及び大学生	30名	講義、野外活動、課題解決型野外炊事、キャンプファイヤー、アイスブレイク演習、創作活動、応急処置についての演習、施設ボランティア登録

活動名	期日	対象	募集人員	内容
自然体験活動ボランティア実践セミナー (1)9歳チャレンジ・キャンプ (2)夏の7days キャンプ (3)ファミリーキャンプ (4)年長すくすくキャンプ (5)スキルアップ研修① (6)自然体験ぼんじゅフェスタ (7)冬にとびだそう (8)ぼんじゅ冬キャンプ (9)スキルアップ研修②	実施日は各事業を参照	高校生及び大学生「自然体験活動ボランティア入門セミナー」を受講し、梵珠少年自然の家ボランティアとして登録した者及びマスターボランティア有資格者	定員は各事業により異なる。 (4)と(6)は12～30名。 (5)と(9)は全登録者対象、その他は4～6名。	実践セミナー対象9事業中看板事業1事業親子事業1事業以上に参加し、梵珠少年自然の家のボランティアとして、自主企画の実践や子どもたちの活動を支援し、自己のスキルアップを図る。 さらに、選択事業の企画実践後に企画及び運営に係る施設ボランティアとしてのふりかえりを行い、次企画に向けた改善を図る。 上記の条件を満たした者には、修了証を発行し、ぼんじゅマスターボランティアとして後輩ボランティア育成に係る指導や支援及びボランティア企画会議や各地区で開催するボランティアミーティング時のアドバイザーとして活動できる。 【対象事業での活動内容】 ・管轄グループの活動支援、グループメンバーの体調管理及び安全管理 ・自主企画立案と運営 ・主体的な事業の企画・運営を行うための実践的な知識や技能の研修を行い、ボランティアとしての資質の向上を図るボランティアミーティングやプロ講師から指導法を学ぶスキルアップ研修
指導者養成～ぼんじゅ出前講座～	11月～3月 【各回即日】	幼稚園・保育所及び小・中学校、特別支援学校の小・中学部、青少年教育団体（子ども会、児童館、公民館、放課後子ども教室等）		団体が開催する各種行事(事業)に出向き、自然の家が提供するプログラムの実施における指導と助言を行う。指導及び助言とは、指導者への指導法等の伝達及び助言、児童生徒への直接指導、指導者研修会等での指導及び助言や実地指導である。 また、過去に出前講座を実施した団体については、用具の貸し出しや創作材料の提供及び指導方法の伝達のみを行う「間接指導」の利用を積極的に勧めていく。 活動プログラムは、自然の家ホームページにて「指導者養成～ぼんじゅ出前講座～」プログラム一覧参照

(3) 親子事業
【事業目的及び概要】

親子や仲間とのふれあいを深めながら自然について学ぶとともに、自然に親しむ態度を育てることを目的として、施設周辺の恵まれた自然環境を活かした多様な体験活動を行う事業である。

活動名	期日	対象	募集人員	内容
春を楽しむサン day ～春の息吹を五感で 感じよう～	4/28(日)	小・中学校の 児童生徒と その保護者	40名	はじめのつどい、自然観察、春を 感じるさくらの草木染め、おわりの つどい
ファミリーキャン プ 家族 day 野外 炊事! ～ダッチオープン に挑戦してみませ んか～	8/24(土) ～25(日)	幼児～中学 生とその保 護者	18家族	はじめのつどい、野外活動体験、 ダッチオープンによる野外炊事、 キャンプファイヤー、テント泊、 思い出クラフト、おわりのつどい
自然体験ぼんじゅ フェスタ	10/27(日)	小・中学校の 児童生徒と その保護者 及び自然体 験活動に関 心のある方	各プログ ラムによ っては定 員あり	ダッチオープン体験、ピザ作り、本 格リース作り、自然物を使った創作 ブース、木材を使った創作ブース、 乗馬体験、フリー体験ブース、遊び のコーナー、野外活動他
本格門松をつくろ う	12/14(土) ～15(日) 【即日2回 両日 とも同内容】	小・中学校の 児童生徒と その保護者 及び一般の 方	280名 うち一般 の方の参 加は60人 まで	開会行事、製作説明、本格門松づ くり(土台作り、飾り付け)
冬にとびだそう ～親子で白銀の世界～	1/11(土) ～12(日)	小・中学校の 児童生徒と その保護者	13家族	はじめのつどい、雪のテーブル作 り、雪灯籠作り、炊事「きりたん ぼ鍋」、夜の雪灯籠祭り、思い出ク ラフト、チューブそり遊び、おわ りのつどい

種差少年自然の家

種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、子どもの祭典)

974千円

【事業目的及び概要】

小・中学生が家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましい子どもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などを体験する学習機会の提供をする事業である。

【事業内容】

(1)自然と遊ぼう

活動名	期日	対象	募集 定員	内容
たねさしワールド 「春を感じて」	5/12(日)	小・中学 生とその 保護者	100名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルの散策、創作活動 等
たねさしワールド 「エンジョイ! 海遊び」①② ※2回開催	7/7(日)		100名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト作 り、磯遊び 等
	7/14(日)		100名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/20(日)		100名	秋の自然を楽しもう ・自然の素材を生かした創作活動 等

たねさしワールド 「冬の季節を感じて」	12/1日(日)		100名	創作リースを作ろう ・クリスマスリースづくり 等
たねさしワールド 「エンジョイ！ 雪遊び」①② ※2回開催	1/25(土)	4歳以上の 幼保・小・ 中学生と その保護 者	100名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そり遊び、 スノークラフト作り 等
	1/26(日)		100名	
たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催	2/8(土) ～9日(日)	小3年 ～4年	40名	子どもだけで泊まって楽しもう ・仲間づくり、レクリエーション、夜の森 探検、創作活動 等
	2/15(土) ～16(日)	小1年 ～2年	40名	

(2)子どもの祭典

事業名	期日	対象	募集 定員	内容
おいでよ！ サマーキャンプ	7/30(火) ～8/2(金)	小5年 ～中3年	30名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ナイトハイク ・海での活動 等
わくわくどきどき ウィンターキャン プ	12/25(水) ～27(金)	小5年 ～中3年	20名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・冬の自然体験 ・森探検等

自然体験活動支援事業 257千円

[事業目的及び概要]

学校や公民館、児童館などの身近な施設内外の活動場所で、子どもたちに自然体験活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動や創作活動の現地支援を行う。また、自然体験活動や創作活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小中学校及び少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

事業名	期日	対象	募集 定員	内容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10月～3月 *6月～9月 は原則とし て実施なし	三八、上北管内の 小・中学校、児童館、 公民館、青少年団体 や成人団体 等	1団体 10人 以下可	・種差少年自然の家のプログラムの中 で出前対応可能なもの (せんべい焼き、どんぐりアート、動 物マグネット、貝がらアート、種差 アロマアート、スポーツ教室等)
自然体験活動 研修会	6/2(土) ～3(日)	幼・小・中学校教員、 高校・大学生、児童 館など関係機関の 指導者、その他自然 体験活動に興味の ある方	35名	・野外炊事や創作活動等のプログラ ムの実習 ・自然体験活動にかかわる実習 ・危機管理対応訓練等

在学少年宿泊指導者研修**〔事業目的及び概要〕**

種差少年自然の家を利用する小・中学校及び特別支援学校等の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

- 期日：4/22(月)～23(火)
- 場所：種差少年自然の家
- 対象：平成31年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員

〔事業内容〕

- 講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方
- 実習：活動プログラムの実習（野外、自然、創作活動、夜の活動）、施設等の利用方法
- 演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認

親子で学ぶ防災キャンプ事業 125千円**〔事業目的及び概要〕**

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害に遭遇したときにおける実践的な防災力を育むことを目的として、小・中学生とその家族を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

事業名	期日	対象	募集定員	内容
「親子の絆」 防災キャンプ	9/21(土) ～22(日)	小・中学生と その保護者	24組 80名	・親子で宿泊体験 ・野外炊事 ・避難用グッズづくり 等

(2) 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

生涯学習課

若者・女性の学び直しを通じたキャリア形成支援事業 3,876千円

〔事業目的及び概要〕

人生100年時代を見据え、職業に必要なスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進が求められていることを踏まえ、県民の主体的なキャリア形成を総合的に支援するため、産学官民のネットワークを構築し、若者・女性向けのキャリアプランニング講座の開設及び学び直しの場への動機づけとなる啓発などを行うとともに、産学官民のネットワークを活用し、学びの入り口から出口まで切れ目のない総合的な支援体制のモデルを構築する事業である。

〔事業内容〕

(1) 学び直し推進会議

○参加予定の機関：県内大学・短大・専修学校、県関係部局、市町村、産業界、就業支援機関、民間団体

○会議概要：①7/11(木) 県総合社会教育センター

- ・国の動向、次期県基本計画による方向性、本県の現状について
- ・学び直しに関する情報提供の在り方について

②10/17(木) 県総合社会教育センター

- ・学び直しに関する情報内容について
- ・若者・女性を対象とした学び直し講座の内容について
- ・若者・女性のキャリア形成支援の在り方について

③1/23(木) 県総合社会教育センター

- ・若者・女性を対象とした就業支援の在り方について
- ・若者・女性を対象としたフォローアップの在り方について

(2) 若者・女性対象のキャリアプランニング講座

ア キャリアプランニング講座

○場所及び期日 3地区×5回

	会場：むつ市 下北文化会館	会場：黒石市 スポカルイン黒石	会場：三沢市 三沢キッズセンターそらいえ
第1回	7/ 6(土)	7/13(土)	7/20(土)
第2回	8/24(土)	8/31(土)	9/ 7(土)
第3回	9/21(土)	9/29(日)	10/12(土)
第4回	10/19(土)	10/26(土)	11/ 2(土)
第5回	11/16(土)	11/23(土)	11/30(土)

○対象 子育て世代の女性、自分の適性や能力を発揮したい若者

- 内容
- 第1回 スタートアップ研修
 - 第2回 自分の適性を知る研修
 - 第3回 自分の能力開発を行う研修
 - 第4・5回 キャリアプランをつくる研修

イ フォローアップ研修会

○期日：2/15(土)

○場所：県総合社会教育センター

○対象：キャリアプランニング講座の参加者、学び直し推進会議関係者、一般県民

○内容：キャリア形成に向けたそれぞれの取組を発表するとともに、参加者同士の交流を図る

(3) 学びの場への誘導

ア SNS等による学習機会情報の提供

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P8 (1)学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

若者の社会参加促進事業 821 千円

〔事業目的及び概要〕

若者の社会参加を促進することを目的に、若者団体等が企画立案する地域の課題等を踏まえたモデル事業を実施する事業である。また、ひきこもりやニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、自立を支援する就労体験活動や自然体験活動を実施する事業である。

〔事業内容〕

(1) 若者の社会参加促進事業プランの実践

公民館等の社会教育施設を拠点に、若者団体等地域活動への参加や若者同士の関わり、地域のつながりを形成するモデル事業プランを実施する。

ア 事業プランの計画立案(3地区1事業)

※書類審査を行い、3つの事業プランを選出する。

イ 選出事業プランの実施(若者団体等に委託)

ウ 実施後の事業プランの周知

(2) 困難を抱える子ども・若者支援

高等学校(通信制)に在籍している不登校生徒やひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりのきっかけを求めている若者(16歳～概ね40歳)を対象に、日帰りの自然体験・交流塾を、三八地区及び津軽地区でそれぞれ実施する。

ア 第1回自然体験・交流塾【顔合わせ交流会】

○期日：〔三八地区〕7/20(土)、〔津軽地区〕7/13(土)

○開催場所：〔三八地区〕種差少年自然の家、〔津軽地区〕梵珠少年自然の家

○内容：アイスブレイク、野外炊事、面談(家族対象)、情報交換 等

イ 第2回自然体験・交流塾【就労体験】

○期日：〔三八地区〕8/24(土)、〔津軽地区〕8/31(土)

○開催場所：〔三八地区〕種差少年自然の家、〔津軽地区〕梵珠少年自然の家

○内容：アイスブレイク、就労体験活動 等

ウ 第3回自然体験・交流塾【自然体験】

○期日：〔三八地区〕9/28(土)、〔津軽地区〕10/5(土)

○開催場所：〔三八地区〕種差少年自然の家・階上岳、〔津軽地区〕梵珠少年自然の家・梵珠山

○内容：アイスブレイク、登山 等

エ 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議

第1回交流塾開催前と第3回交流塾終了後、支援団体等により参加者の情報共有をするとともに、活動内容等について話し合う。またボランティア研修会も併せて行う。

総合社会教育センター

パワフルAOMORI! 創造塾 1,385 千円

〔事業目的及び概要〕

新たな地域活動者の発掘・育成を行うとともに、仲間づくりの促進やネットワークの形成・強化、地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引する人財を育成する事業である。

〔事業内容〕

(1) 期日

第1回 7/20(土)～7/21(日)

第2回 8/17(土)～8/18(日)

第3回 10/26(土)～10/27(日)

第4回 11/30(土)

(2) 場所

第1～3回 県総合社会教育センター、青森公立大学国際交流ハウス(各回1泊2日)

第4回 県総合社会教育センター

(3) 対象

- 地域を元気にしたいという想いのある者
- 地域活動を実際に企画運営している者、または今後行う予定のある者
- 大学、企業、NPO、市町村職員等の地域活動に関わる関係者
- ※原則全回出席できる者

(4) 人数 20名程度

(5) 受講料

無料（但し、交通費や宿泊費等は自己負担とする。）

(6) 内容

- 講師による講義・演習のほか、グループによるディスカッション
- 地域活動を企画運営する「実践活動」
- 研修成果に係る発表会

公民館パワーアップ講座

〔事業目的及び概要〕

地域コミュニティの拠点としての公民館機能を活性化するため、公民館の運営に必要な基礎的かつ実践的な知識及び技術等について研修を行い、同時に公民館関係職員相互の連携を図る事業である。

〔事業内容〕

- (1) 対象：公民館・市民センター職員、教育委員会職員、社会教育委員、学校関係者等
- (2) 時期：6月～2月 年4回
- (3) 場所：県総合社会教育センター
- (4) 人数：30名程度
- (5) 講座内容

- ア 講義「公民館運営の現状とこれから～地域課題解決に向け、公民館が出来る事～」
- イ 事例紹介「県内公民館による取り組みの紹介」
- ウ 事例紹介「東日本大震災での対応を振り返る」等
- エ 演習「避難所運営スキルを高めよう」(HUG)

地域の今と未来をつなぐ教育支援コーディネーター等研修

852千円

〔事業目的及び概要〕

学校・家庭・地域が連携・協働して地域の子供を育むために、学校と地域住民・企業・NPO・各種団体等をつなぐ「教育支援活動コーディネーター」の育成及びキャリア教育関係者のスキルアップを目的とした研修を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 教育支援活動コーディネーターの育成及びスキルアップ研修の実施
 - 期日・場所：西北地区 6/11(火) 五所川原市中央公民館
三八地区 6/12(水) 八戸市福祉公民館
 - 対象：教育支援活動推進員、学校支援コーディネーター等
 - 講師：NPO法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき
- (2) 地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラムの開催
 - 期日：10/29(火)
 - 場所：県総合社会教育センター
 - 対象：教育支援活動推進員、学校支援コーディネーター、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教職員等
 - 講師：株式会社Prima Pinguino 代表取締役 北陸大学経済経営学部 教授 藤岡 慎二
- (3) 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - 教育支援プラットフォーム「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - 新規登録事業所の開拓、登録手続き

生涯学習・社会教育関係職員研修講座	776 千円
-------------------	--------

[事業目的及び概要]

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

[事業内容]

- (1) 新任職員研修
 - 期日：前期…5/15(水) 後期…9/26(木)
 - 場所：県総合社会教育センター
 - 回数：2回
 - 対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係新任職員や関係団体等の新任職員等
 - 内容：社会教育行政の業務遂行に係る基礎的な知識・技能の習得
- (2) センター研修
 - 時期：6月～10月
 - 回数：5回(県総合社会教育センター 定員各30名)
 - 対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係職員や関係団体等の職員等
 - 内容：第1回…6/13(木) パワーポイントを使ったチラシづくりの実践(※定員20名)
 第2回…6/26(水) 地域に根ざした魅力的な講座をつくるために
 第3回…8/28(水) 若者が参加しやすい事業周知の在り方
 第4回…10/18(金) 企画者の想いが伝わるチラシづくりのテクニック
 第5回…10/25(金) 事業計画と評価・改善について
- (3) 地区研修
 - 時期：5月～10月
 - 回数：6回(1回×6地区 教育事務所単位)
 - 対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係職員や関係団体等の職員等
 - 内容：各地区の地域課題に即した実践的な知識・技能の習得と人財育成
 東 青…7/10(水) これからの地域づくりに求められること
 西 北…9/2(月) 地域の課題解決に挑み、地域再生・地域活性化の実現に向けて
 中 南…6/20(木) 住民主体のまちづくり
 上 北…5/29(水) 貧困問題と子ども支援
 下 北…10/17(木) 企画者の想いが伝わるチラシづくりのテクニック
 三 八…10/18(金) 企画者の想いが伝わるチラシづくりのテクニック
 ※センター研修と合同開催 三八…第4回
- (4) 社会教育主事等専門研修
 - 期日：4/23(火)
 - 場所：県総合社会教育センター
 - 回数：1回
 - 対象：市町村の社会教育主事及び社会教育関係職員等
 - 内容：国や県の動向、社会教育主事の果たすべき役割等、生涯学習・社会教育についての講義・演習・情報交換等を行う。

(3) 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

生涯学習課

特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業 472 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校(特別支援学校)の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

〔事業内容〕

特別支援学校の有する専門性を生かし、公益性の高い公開講座を開設する。

- 実施予定校数：6校
- 対象：一般県民(小中高生を含む)

障害者の生涯学習支援事業 1,013 千円

〔事業目的及び概要〕

自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障害者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

〔事業内容〕

- 場所：県内特別支援学校(15校)
- 時間：各3日間 8時間程度
- 対象：障害のある青年等
- 内容：(1)社会参加学習
(一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障害者の福祉)
- (2)スポーツ体験交流

総合社会教育センター

元気青森人を創造するeラーニング推進事業 923 千円

〔事業目的及び概要〕

自己の生き方や働き方について考えたり人生設計したりするための学習を、県民の誰もがいつでもどこでも手軽にできることを目的として、インターネットによる講座の配信を行う事業である。

〔事業内容〕

インターネットによる学習教材の配信(eラーニング)

- (1) 元気青森人 PowerUp コンテンツ
- (2) あおもり学インターネット講座
- (3) あおもり子育てネット

学習情報の収集・提供事業 7,147 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の学習活動を支援することを目的として、各種学習情報を収集し、インターネットにより県民に提供するとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供
4情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供を行う。
- (2) サーバ・パソコン機器等維持管理
青森県学習情報提供システム用サーバ・パソコン機器等を維持管理する。

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 528 千円**【事業目的及び概要】**

16mm フィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともにその活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営する事業である。

【事業内容】

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
- (3) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (4) 視聴覚教材の購入
- (5) 視聴覚教材のデジタル化業務

あおもり県民カレッジ運営業務**【事業目的及び概要】**

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かして社会参加できることを目的として、県民の生涯学習を総合的に支援する事業である。

【事業内容】

- (1) 運営全般
 - ア カレッジ学生への対応
学生募集、学生証の交付、単位認定
 - イ 連携機関への対応
登録受付、連携機関連絡会議の開催、共催・協力による講座・イベントの開催
- (2) 普及啓発
 - ア 生涯学習フェアの開催
 - イ 普及啓発情報収集
連携機関等への取材、社会参加に関する情報の収集
 - ウ テレビ・ラジオ放送を利用した広報
 - エ 生涯学習HPの作成
- (3) 学習情報提供・学習相談
 - ア 学習相談
 - イ 学習情報の収集・提供
 - ウ 情報紙「てのひら」発行
- (4) 学習機会提供
 - ア 地域キャンパス講座開催（県内6地区にて開催）
 - イ テレビ・ラジオを利用した学習機会提供
 - ウ ボランティア自主講座の開催（社会参加活動支援）
 - エ ボランティア活動支援機関連絡会議の開催
- (5) 評価サービス
 - 県民カレッジ学生への評価サービス

インフォメーションプラザありすの運営**【事業目的及び概要】**

生涯学習に関する総合窓口として、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、図書資料等の閲覧サービス等の業務を行う。

【事業内容】

- (1) 窓口対応
- (2) 視聴覚教材貸出サービス
- (3) ポスター、チラシ、図書資料等の展示
- (4) 社会参加活動支援センターの運営
- (5) 学習成果の展示

ボランティア活動支援機関連絡会議**〔事業目的及び概要〕**

ボランティア活動を支援する機関のネットワークの構築・強化を図ることを目的とし、情報共有・情報交換を行う会議を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 期日：4月～5月
- (2) 会場：県内6地区
- (3) 内容：各機関の活動状況と課題等について

県立図書館**近代文学館 特別展開催事業 2,061千円****〔事業目的及び概要〕**

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：「特別展 詩人・一戸謙三」
- (2) 会期：7/13(土)～9/23(月・祝)
- (3) 内容：展示、文学講座を実施する。
 - 展示 詩人・一戸謙三は、1899(明治32)年黒石町(現黒石市)に生まれた。福士幸次郎の詩集『太陽の子』に感動して詩の道に進み、日本的シュールレアリスム詩を確立後、散文詩形式による伝統とモダンの結合を試み、プロレタリア派との対立を経て、一戸は津軽方言詩へと向かう。県詩壇のリーダーとして活躍した一戸謙三の詩業に迫る展示を開催。
 - 文学講座 関係者・研究者等を招き、文学講座を開催する。第1回は、県外から著名な講師を招いての基調講演やシンポジウム等とし、第2回は、県内文学研究者等による講座を実施。

近代文学館 企画展開催事業 770千円**〔事業目的及び概要〕**

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 「今日出海展—直木賞受賞から70年—」
 - 会期：10/26(土)～1/13(月・祝)
 - 内容：今日出海(こん・ひでみ)は1903(明治36)年に函館で生まれた。父・武平(ぶへい)と母・綾(あや)はともに弘前出身であり、長兄の東光(とうこう)も後に直木賞作家となる。旧制浦和高校を卒業した日出海は東京帝国大学に進み、演劇や文筆活動を開始。1932(昭和7)年からは明治大学文芸科で教鞭を執る。戦中は陸軍報道班員としてフィリピン従軍を経験。昭和25年に「天皇の帽子」を発表し、第23回直木賞を受賞。昭和43年から47年まで初代文化庁長官を務め、昭和59年に80歳で世を去った。
「天皇の帽子」による直木賞受賞から70年という節目に当たり、直筆原稿や著書、作品掲載誌を多数展示し、作家・今日出海の生涯と足跡を紹介する展示を開催。
- (2) 「作家×スポーツ展」
 - 会期：2/22(土)～5/17(日)
 - 内容：1964年オリンピックが東京で開催された。東京オリンピックは、アジアで初めて開催されたオリンピックであり、スポーツ界のみならず、作家たちにも強いインパクトを与えた。
本展では、2020年に開催される東京オリンピックに先駆け、県近代文学館が所蔵する作家とスポーツにまつわる資料を展示し、スポーツに熱中した作家たちのエピソードや、青森ゆかりの作家たちがオリンピックやスポーツをどのように観て、描いたのかを紹介。

アウトリーチサービス推進事業 223 千円**〔事業目的及び概要〕**

来館による図書館利用が困難な重度心身障害者や要介護高齢者等に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容〕

利用登録者から、電話・郵便・FAX等により希望図書の申込みを受け、宅配便を利用して貸出・返却を行う。(4/1(月)～3/31(火))

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 892千円

[事業目的及び概要]

生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備するため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

[事業内容]

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

第14期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(H30/10/19～R2/10/18)

○方針：県教育長から諮問された審議テーマについて調査し、生涯学習課が今後取り組むべき事業について審議する。

○審議テーマ：「人口減少下における地域コミュニティ再生のための生涯学習の推進の在り方」

○会議等の予定：第2回(5月)、第3回(8月)、先進事例実地調査(9月～10月)、第4回(12月)

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 1,161千円

[事業目的及び概要]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

[事業内容]

一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

○調査テーマ：(仮)「生涯学習・社会教育に関する県民の意識調査」

○調査対象：一般県民3,000人

○顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。

○報告書：100部を印刷し関係機関に配付するほか、ホームページでも公開する。

青森県社会教育委員の運営 613千円

[事業目的及び概要]

本県の社会教育推進体制の充実を図ることを目的として、社会教育法第17条に基づき青森県社会教育委員を設置し、本県社会教育の現状と振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行うことを目的として会議を運営する事業である。

[事業内容]

第34期青森県社会教育委員の会議

○委員：8名

○任期：2年(H30/10/19～R2/10/18)

○第34期青森県社会教育委員の会議における調査研究テーマ

「人づくり・つながりづくり・地域づくりの拠点としての社会教育施設の在り方」

○会議等の予定

第3回会議	6月中旬	調査対象とする施設、調査方法などについて
第4回会議	8月上旬	実地調査の内容、調査項目などについて
実地調査	8月下旬～10月上旬	
第5回会議	2月中旬	調査結果の分析、重点審議事項2に係る答申案について

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 265 千円

〔事業目的及び概要〕

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「平成 31 年度青森県の社会教育行政」の作成配付(600 部作成予定)

社会教育主事派遣事業 8,733 千円

〔事業目的及び概要〕

町村等の社会教育行政及び社会教育指導体制の充実を図ることを目的として、社会教育主事の資格を有する学校職員を町村等教育委員会に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣先 上北地方教育・福祉事務組合 派遣者数 1 名

社会教育主事有資格者育成派遣事業 524 千円

〔事業目的及び概要〕

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣研修 社会教育主事講習(弘前大学) 研修期間(予定) 7/16(火)～8/8(木)

生涯学習専門講座派遣事業 182 千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習の進行において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣先 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名 社会教育主事専門講座、地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 派遣人数 各 1 名

社会教育主事等一般研修 156 千円

〔事業目的及び概要〕

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修と情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

〔事業内容〕

- 研修会の開催 年 2 回 (予定)

在学青少年育成費補助事業 359 千円

〔事業目的及び概要〕

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

〔事業内容〕

- 東京青森県人会及び青森県高等学校長協会が実施する高校生を対象とした講演会事業に助成する。
- 内容：東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師に、高

校生を対象とした講演会を開催する。

○実施場所：県内高等学校 6校

〔青森東高等学校、青森南高等学校、弘前高等学校、弘前中央高等学校、田名部高等学校、三沢商業高等学校〕

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P8 (1)学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

総合社会教育センター

ボランティア関係者ネットワーク形成セミナー 219 千円

〔事業目的及び概要〕

ボランティア関係者の資質の向上及びネットワークの構築を目的としたセミナーを開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す事業である。

〔事業内容〕

- 期日：青森会場 9/17(火)、八戸会場 8/21(水)
- 場所：(青森会場)県総合社会教育センター
(八戸会場)八戸市総合福祉会館
- 対象：各市町村教育委員会及び首長部局職員、各市町村社会福祉協議会職員、各市町村ボランティア連絡協議会、各市町村ボランティア活動支援機関職員、あおもり県民カレッジ連携機関、NPOボランティア関係団体等
- 内容：講義・演習及び情報交換を行い、参加者の専門性と資質の向上を図るとともに、参加者同士のネットワークを構築する。

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲)

(P26 (2)活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成に掲載)

県立図書館

県立図書館資料整備 63,402 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的として、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

〔事業内容〕

- 図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備
- 図書館 58,858 千円
- 近代文学館 4,544 千円

市町村立図書館等職員研修事業 245 千円

〔事業目的及び概要〕

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を図ることを目的として、市町村立図書館等職員研修を年 5 回実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために県立図書館事業等担当者会議を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 県立図書館事業等担当者会議 年 1 回 5/22(水)
- (2) 市町村立図書館等職員研修(初任者研修) 年 2 回 7/3(水)・7/4(木)
- (3) 市町村立図書館等職員研修 年 3 回 9/4(水)、10/30(水)、期日未定